



いにしへの道



益山用水路



旧蓼坂正一郎邸

薩摩の武士が生きた町

シンポジウム



日本遺産

加世田麓



竹田神社



加世田鍛冶



犬追馬場

令和5年

日時

2/5日
13:30~16:45



会場

ふれあいかせだ いにしへホール
(鹿児島県南さつま市加世田川畑2641番地2)

内容

- (1) 主催者あいさつ (13:30~13:35)
- (2) 日本遺産フォトコンテスト表彰式 (13:35~13:45)
- (3) 要旨説明 (13:45~14:00)
- (4) 講演 (14:00~15:30)
「薩摩の武士とかごしまの焼酎について」
鹿児島大学客員教授 鮫島 吉廣氏
- (5) 休憩 (15:30~15:50)
- (6) パネルディスカッション (15:50~16:40)
「日本遺産を活かした地域づくり～麓の文化を結ぶ～」
- (7) 閉会行事 (16:40~16:45)



竹屋神社(焼酎神社)

参加費
無料

定員 300名

応募方法等:詳細については裏面にございます。

会場におきまして、日本遺産「薩摩の武士が生きた町」に関連する小学生の自由研究と、フォトコンテストの入賞作品の展示を行います。

問い合わせ先

主催：日本遺産「薩摩の武士が生きた町」魅力発信推進協議会

(事務局：鹿児島県教育庁文化財課内)

鹿児島市鴨池新町10番1号 TEL: 099-286-5357 FAX: 099-286-5675

E-mail: siteibun@pref.kagoshima.lg.jp

講師プロフィール



鮫島 吉廣 氏

1947(昭和22)年鹿児島県加世田市(現・南さつま市)生まれ。
1971年京都大学農学部食品工学科卒業。同年ニッカウヰスキー入社。1976年、薩摩酒造入社。常務取締役研究所長兼製造部長を最後に2006年、退職。同年10月、鹿児島大学農学部にて新設された焼酎学講座(開講は2007年4月)教授に就任。2013年4月、鹿児島大学客員教授。九州各地で教え子達が本格焼酎づくりに携わっている。
焼酎文化や歴史など鹿児島の焼酎の伝え手を育成する「かごしま焼酎マイスターズクラブ」理事長。『ダレヤメの肴』(南日本新聞社)、『焼酎・一酔千楽』(南方新社)など著書多数。近著は『焼酎の履歴書』(イカロス出版)。

応募方法

下記以外の方法では受付いたしかねますのでご了承ください。
定員に達してお受けできない場合のみ、お電話等でご連絡させていただきます。

① FAXを利用しての応募

FAX **099-286-5675** 薩摩の武士が生きた町シンポジウム
日本遺産「薩摩の武士が生きた町」魅力発信推進協議会 **FAX参加申込み用紙**
このまま送信ください。

お申込者①	フリガナ	ご連絡先	電話	()
			FAX	()
ご住所				
お申込者②	フリガナ	ご連絡先	電話	()
			FAX	()
ご住所				
お申込者③	フリガナ	ご連絡先	電話	()
			FAX	()
ご住所				

② メールでの応募

※お名前、住所、連絡先(電話番号・メールアドレス)を明記の上、

siteibun@pref.kagoshima.lg.jp

までお申込み下さい。

※同一人物の複数回応募は2回目以降無効といたします。

③ はがきでの応募

※お名前、住所、連絡先(電話番号)を明記の上県庁内事務局までお申し込みください。

鹿児島市鴨池新町10番1号
鹿児島県教育庁文化財課内
日本遺産「薩摩の武士が生きた町」魅力発信推進協議会

※1枚で5名まで応募可。ただし全員のご連絡先を明記ください。

シンポジウム参加時のお願い

①シンポジウム当日に37・5度以上の熱、咳、咽頭痛などの症状がある場合は、参加をお控えください。

(当日・体温測定へのご協力をお願いし、体調についておうかがいします)

②密集・密閉・密接の三密を避けるため、他の参加者の方と適切な距離を保ちましょう

③ご参加の折はマスク着用をお願いします。また運営スタッフに従って、手指消毒等へのご協力もお願いいたします。

※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、ご理解とご協力をお願いいたします